

カメラ

まちの出来事

あらかると

広報たかはし

広報たかはし



光と炎の芸術 (7月28日 成羽川河川敷)

300年の歴史と伝統を誇る「復興第56回 備中名物成羽愛宕大花火」が行われ、多くの観客でにぎわいました。

延長400mの大銀滝、「ゲゲゲの鬼太郎」、「釣りバカ日誌」、NHK大河ドラマ「風林火山」の武田信玄や上杉謙信の絵柄など中四国最大規模の仕掛け花火12景や、打ち上げ花火2000発が夜空を彩りました。

また、河川敷に設けられた舞台では備中神楽も奉納されました。

ねんどがいっぱい! (7月26日 高梁中央保育園)

子どもたちが自由に大量の粘土で遊べる「粘土場」が設けられている同保育園で、年長児13人とその保護者らが粘土遊びを楽しみました。

この粘土場は、子どもたちの自由かつ大胆な造形感覚を育て、芸術教育や共同性を支援することを目的として、順正短期大学幼児教育科の前嶋英輝准教授が考案。今年6月に開設しました。



ハツラツ往年のプレー (8月4、5日 神原スポーツ公園 他)

第2回中四国選暦軟式野球大会が行われました。この大会は60歳以上の選手で構成するチームが争うもので、16チームが出場しました。

市内からも今春結成された「高梁ベアーズ」が出場。往年の姿を彷彿とさせるプレーで準々決勝まで勝ち進みました。来年は、岡山県で全国大会が開催されます。

入館43万人達成

(8月5日 吉備川上ふれあい漫画美術館)

平成6年4月のオープン以来、入館43万人を達成しました。43万人目となったのは、家族3人で来館した北川昭宏さん(岡山市三浜町)。「漫画美術館にはよく来ていますが、今日はよい記念になりました」と喜んでいました。記念品として、川上地域の特産品が贈られました。





ステキな絵本の世界へ

(8月4日 文化交流館)

高梁中央図書館の読書ボランティアグループ「おはなしたまてばこ」の主催で「夏のお話会」が行われました。

「にゃーご」「パパはウルトラセブン」などの作品で知られる絵本作家・宮西達也さんによるユーモアたっぷりの絵本の読み聞かせに、会場には終始笑顔があふれていました。また、読み聞かせの後、大人を対象とした講演会も行われました。

昼夜を通して夏の高原を満喫

(8月4日 西山高原レジャー施設一帯)

「夏祭り in 西山高原」が行われ、昼間は親子連れらが子ども向けの木工やアイス作りに挑戦。夕方からは、備中神楽や備中太鼓など地元団体のステージがあり、会場を盛り上げました。

また、夜空を神秘的に彩ったレーザーショーや標高450mから打ち上げられた花火を、来場者は堪能していました。



100歳おめでとうございます

100歳(明治40年生まれ)の誕生日を迎えられた3人を市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は8月7日現在で29人(男性5人、女性24人)

○山口 鶴子さん

(高倉町田井)

7月8日生まれ。長寿の秘訣は「他人に迷惑をかけないように生活すること。くよくよしないこと」

<7月10日

老人保健施設ゆうゆう村にて>



○三宅 静さん

(川上町仁賀)

8月2日生まれ。長寿の秘訣は「早寝、早起きをして、農作業などで体をよく動かしていたこと」

<8月3日 自宅にて>



○赤松 政子さん(宇治町穴田)

8月2日生まれ。長寿の秘訣は「健康管理に人一倍気を使い、早め早めに対応したこと」<8月2日自宅にて>

宇治観光ぶどう園オープン

(7月13日 宇治町宇治)

宇治町の農家7戸でつくる「宇治高原農園」による観光ぶどう園と直売所がオープンしました。オープンを記念して、宇治幼稚園の園児8人と宇治小の児童14人を招待。園児らは紫黒色で大粒のピオーネの収穫を楽しみました。

同園内の一部には、スロープや木製台を設置。子どもや車いすでも収穫を楽しめるようになっています。



今月の 表紙

元気いっぱい水しぶき!

真夏が続く中、市内プールは大にぎわい。8月6日、高梁市民プールでも、多くの親子連れらが訪れました。子どもたちは、ビーチボールや浮き輪を手に水しぶきをあげ、大はしゃぎ。夏休みの楽しい一日となりました。